

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号: 8732 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2019年11月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2019年11月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年 月	2019年3月期											
	2018年									2019年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968	5,006	5,351
マネパカード口座数 (単位: 口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845	150,323	151,621

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	436	430	438	446	552	397	411	293				
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497				
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691				
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383				
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536				
金融法人 (B to B)	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363	4,770	4,847				
マネパカード口座数 (単位: 口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101	158,861	159,676				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

#### <11月次の概況>

11月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝108円丁度の水準で取引が始まり、同日一時108円台を割り込んだものの、その後は米中通商問題に対する楽観的な見方が優勢となり値を上げ、7日には米国株式市場の高騰もあり109円台半ばをつけました。ところが、その後香港民主化デモ問題や中国経済指標の悪化等を受けてリスク回避の動きから円が買われ108円台半ばの水準まで下げました。その後、米中通商問題への進展期待や27日に発表された米国経済指標が強い結果となったことを背景に値を上げ、109円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、米ドル／円と同様低調な値動きとなり、外国為替相場の変動率は、米ドル／円が2019年6月以来の低調な水準となったことに加え、他の通貨においてもほぼ軒並み低調となり、全体としては2014年8月以来の低水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月比38%減少の434億通貨単位となりました。一方、営業収益は、全体の収益性は向上したものの、システム関連売上高が前月から大きく減少したこともあり前月比28%減少の293百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比773口座増加の338,691口座、マネパカード口座数は前月比815口座増加の159,676口座と値動きの小さい相場を反映して低調な結果となった一方、外国為替取引預り証拠金も、顧客の含み損益の改善を背景とする出金の動き等があり、全体では638百万円減少の63,383百万円となりました。

以 上